

# 令和4年度事業計画

## ◇ 事業方針

学校給食は、児童生徒が生涯にわたって心身ともに健康な生活を送るうえで「望ましい食生活を営んでいく能力や態度を育てる」重要な教育活動である。

令和3年度から令和7年度までの5年間を期間とする第4次食育推進基本計画では、基本的な方針として3つの重点事項を掲げ、国民の健全な食生活の実現と、環境や食文化を意識した持続可能な社会の実現のために、SDGsの考え方を踏まえながら、多様な関係者が相互の理解を深め、連携・協働し、国民運動として食育を推進することとしている。

青森県においても、これまでの取組の成果と課題、食を取り巻く状況を踏まえ、県民が健康かつ長生きで活動的に暮らせる青森県を目指すため、「健康で活力に満ちた『暮らし』と持続可能な『食』（食料生産、食料消費、食文化）の実現」を新たな目標とした「第4次青森県食育推進計画」を策定し、食育を推進していくこととしている。

公益財団法人青森県学校給食会は、「学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、未来を担う子供たちの健全な心身の育成を図るとともに、学校や地域における食育の推進を支援し、県民の健全な食生活の実践に寄与すること」を目的に、「あおもり型給食」のコンセプト（塩分ひかえめ・野菜たっぷり・あぶらほどよく・ごはんしっかり・あおもりに感謝）を取り入れた給食の提供が広く普及するよう、地場産物加工品及び減塩商品の開発、更には食物アレルギー対応物資の取り扱い等公益性を発揮した事業に積極的に取り組むこととしている。

当給食会の運営状況をみると、物資の取扱数量については、学校給食実施人員の逡減に比例するように、年々厳しい状況が見込まれるが、これからも学校給食用物資の安全確保・安定供給を基本としながら、県及び関係機関との連携を強化し、学校給食の普及充実を図り、経営基盤の安定確保に努力するものである。

以上の方針を踏まえ、令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら次の事業を実施する。

# ◇ 主要事業

## I 学校給食用物資の安定供給及び学校給食の安全確保に関する事業

学校給食実施予定人員

学校別	(学校数) 児童生徒数	完全給食	完全給食 実施率	補食給食		ミルク 給食	合計	実施率
				牛乳 おかず	パン・糰 牛乳			
小学校	(258校) 53,861人	(253校) 53,438人	(98.0%) 99.2%	(1校) 122人	(0校) 0人	(4校) 301人	(258校) 53,861人 【54,667人】 △806人	(100.0%) 100.0%
中学校	(147校) 28,362人	(140校) 27,206人	(95.2%) 95.9%	(1校) 58人	(0校) 0人	(6校) 1,098人	(147校) 28,362人 【29,245人】 △883人	(100.0%) 100.0%
定時制高校 (夜間部)	(9校) 845人	(1校) 40人	(11.1%) 4.7%	(0校) 0人	(2校) 66人	(0校) 0人	(3校) 106人 【110人】 △4人	(33.3%) 12.5%
特別支援学校	(21校) 1,679人	(19校) 1,588人	(90.4%) 94.5%	(0校) 0人	(0校) 0人	(0校) 0人	(19校) 1,588人 【1,614人】 △26人	(90.4%) 94.5%
合計	(435校) 84,747人	(413校) 82,272人	(94.9%) 97.0%	(2校) 180人	(2校) 66人	(10校) 1,399人	(427校) 83,917人 【85,636人】 △1,719人	(98.1%) 99.0%

注：【 】は令和3年度の人数と、その下は令和4年度との増減

### 1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

予算 1,268,739 千円

#### (1) 基本物資供給のための事業

予算 580,898 千円

##### ① 学校給食用パン等の供給体制の充実

小麦粉パンに青森県産小麦を、雪にんじんパンには雪にんじんペーストを練り込み、また、米粉パンに青森県産小麦、青森県産米を取り入れ、県産品の消費拡大を図り安定供給の推進に努める。

小麦粉パン用小麦粉の供給計画

学校別	令和4年度(供給計画)			令和3年度(供給実績見込)		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
小学校	249校	52,980人	49,734Kg	253校	53,772人	47,671Kg
中学校	137	26,963	36,895	139	27,808	35,087
定時制高校 (夜間部)	2	66	148	2	66	148
特別支援学校	17	1,218	2,294	17	1,233	2,324
合計	405	81,227	89,071	411	82,879	85,230

内訳 県産小麦ゆきちから : 89,071Kg 県産小麦ゆきちから : 85,230Kg

雪にんじんパン用小麦粉の供給計画

学 校 別	令和4年度（供給計画）			令和3年度（供給実績見込）		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
小 学 校	249	52,980	2,775	253	53,772	3,129
中 学 校	137	26,963	3,148	139	27,808	3,874
特別支援学校	17	1,218	232	17	1,233	448
合 計	403	81,161	6,155	409	82,813	7,451

内訳 県産小麦ゆきちから : 6,155K g 県産小麦ゆきちから : 7,451K g

バターロール用小麦粉の供給計画

学 校 別	令和4年度（供給計画）			令和3年度（供給実績見込）		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
小 学 校	249	52,980	1,388	253	53,772	1,575
中 学 校	137	26,963	710	139	27,808	1,205
特別支援学校	17	1,218	98	17	1,233	163
合 計	403	81,161	2,196	409	82,813	2,943

内訳 県産小麦ゆきちから : 2,196K g 県産小麦ゆきちから : 2,943K g

米粉パン用米粉・小麦粉の供給計画

学 校 別	令和4年度（供給計画）			令和3年度（供給実績見込）		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
小 学 校	249	52,980	17,811	253	53,772	21,290
中 学 校	137	26,963	12,477	139	27,808	17,339
特別支援学校	17	1,218	416	17	1,233	1,003
合 計	403	81,161	30,704	409	82,813	39,632

内訳 米 粉 : 15,352K g 米 粉 : 19,816K g  
 県産小麦ゆきちから : 15,352K g 県産小麦ゆきちから : 19,816K g

パン副原料の供給計画

- 脱脂粉乳 2,747K g  
 (小麦粉パン用及びバターロール用 2%混入、米粉パン用 3%混入)
- ショートニング 8,017K g  
 (小麦粉パン及び米粉パン用 6%混入、バターロール用 7%混入、雪にんじんパン用 11%混入)
- 砂糖 8,062K g  
 (小麦粉パン及び米粉パン用 6%混入、バターロール用 9%混入、雪にんじんパン用 11%混入)
- グルテン 5,757K g  
 (小麦粉パン用及びバターロール用 2%混入、雪にんじんパン用 4%混入、米粉パン用 12%混入)
- 雪にんじんペースト (雪にんじんパン用 25%混入) 1,539K g
- バター (バターロール用 5%混入) 110K g
- 冷凍全卵 (バターロール用 4%混入) 88K g

麺用小麦粉の供給計画

- 県産小麦ネバリゴシ 34,600K g

## ② 学校給食用米穀の供給体制の充実

学校給食用米穀は全て県産米とし、「青森県学校給食用米穀安定供給検討会議」（六者会議）を設置して安定供給を図るとともに、地産地消の観点から地元産米を供給する。

また、生産者団体からの価格協力により、良質低廉な学校給食用米の供給に努める。

本県で米飯給食を実施している市町村は36市町村であり、当給食会が米穀を供給している市町村は35市町村（内訳 つがるロマン15市町村、まっしぐら20市町村）、数量ベースで県全体の約99%である。

米穀の供給計画

【 】は学校給食用「青天の霹靂」の数値

学 校 別	炊飯方式	令和4年度（供給計画）			令和3年度（供給実績見込）		
		学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
		校	人	K g	校	人	K g
小 学 校	自校	123	22,179	264,157	122	22,379	279,661
	委託	129	30,901	290,437	133	31,398	307,370
	計	252	53,080	554,594	255	53,777	587,031
中 学 校	自校	73	11,127	187,724	75	11,539	196,519
	委託	66	15,903	203,034	67	16,369	212,539
	計	139	27,030	390,758	142	27,908	409,058
特別支援学校	自校	17	1,489	28,099	17	1,512	31,097
合 計	自校	213	34,795	479,980	214	35,430	507,277
	委託	195	46,804	493,471	200	47,767	519,909
	計	408	81,599	973,451	414	83,197	1,027,186
					<b>【256】</b>	<b>【51,672】</b>	<b>【248,294】</b>

玄米 : (17,966 俵)

玄米 : (18,958 俵)

**【4,582 俵】**

## ③ 学校給食用パン品質検査の実施

学校給食用パンについて、パン技術アドバイザーによる品質調査会を県教育委員会等の協力のもとに実施し、品質の向上を図り学校給食の充実に努める。

## ④ 学校給食用パン製造技術講習会及び衛生管理講習会の開催

青森県産食材を使用した学校給食用パンの加工技術の向上を図るため製造技術講習会を開催するとともに、衛生管理の徹底を図ることを目的に衛生管理講習会を開催する。

## ⑤ 牛乳代金の請求及び配分

牛乳代金配分機関として、牛乳代金の徴収及び牛乳供給業者への支払いに係る業務を一元的に処理し、市町村教育委員会、牛乳供給業者の事務負担の軽減を図り、供給価格の安定に努める。

## 牛乳の供給計画

(1人当たり飲用200ml)

学 校 別	令和4年度（供給計画）			令和3年度（供給実績見込）		
	学校数	実施人員	供給量	学校数	実施人員	供給量
小 学 校	258	53,861	2,086	262	54,667	2,196
中 学 校	147	28,362	1,107	150	29,245	1,166
定時制高校（夜間部）	2	66	4	2	66	4
特別支援学校	19	1,588	58	19	1,614	60
合 計	426	83,877	3,255	433	85,592	3,426

(16,275千本)

(17,131千本)

## (2) 一般物資供給のための事業

予算 687,841千円

## ① 物資委員会の開催

県教育委員会、県学校給食センター連絡協議会、県学校栄養士協議会及び各地区連絡協議会の代表で組織する物資委員会を年3回開催し、価格・添加物等について協議を行い、安全で低廉な学校給食用物資を公平・公正に選定するとともに、地場産品の活用について意見を伺い、商品開発につなげる。

また、製造工場の視察を行い、当給食会取扱物資の安全面、衛生面等を確認する。

## ② 物資展示会の開催

当給食会で取扱っている地場産品等学校給食用物資の安全性・品質等について理解をいただくよう、また、学校給食内容の充実を図ることを目的に「物資展示会」を開催する。

事 業 名	期 日	開 催 地	摘 要
学校給食会物資総合展示会	7月29日（金）	青森市 （県社教センター）	出展メーカー 30社程度

## ③ 学校給食用物資価格だよりの作成

当給食会取扱物資の価格、栄養価及びアレルギー物質等を明示した「学校給食用物資価格だより」を作成し、関係機関へ配布し、学校給食用物資の理解を図る。

価格を公表していることにより、民間事業者の物資価格の指標となり、価格が抑制され保護者負担の軽減につなげる。

## ④ 一般物資供給体制の充実

## ア 巡回訪問の実施

学校給食実施校等を計画的に訪問し、取扱物資の安全性・品質等について情報提供を行うとともに、栄養教諭・学校栄養職員から取扱物資に対する要望を伺い、連携の強化に努める。

また、巡回訪問での要望等を整理し、定期的に販売促進会議を行い、一般物資供給体制の充実につなげる。

## イ 地場産品の取扱い

学校給食に「生きた教材」として、青森県の特産品（りんご・ほたて・牛肉・長いも等）が活用されるよう、県農林水産部、農協、漁連等と連携を図り、地場産品の商品開発に努める。

青森県農林水産部では「攻めの農林水産業」の取組方針の中に、学校給食における県産品の利用促進に学校給食県産食材消費拡大事業を掲げ、県産冷凍カット野菜を開発加工品としている。

当給食会では、平成24年度より農協・生産者団体等の協力を頂き、「ほうれん草」、「小松菜」、「ブロッコリー」、「アスパラ」、「カリフラワー」等の加工品の開発に努めており、平成28年度は、「たまねぎ」、「じゃがいも」の加工品を開発し供給を行っている。

水産・畜産加工品の開発については、平成24年度は「イカ」、「イワシ」、平成25年度は「サケ」、平成26年度は「とびうお」、「青森シャモロック」、平成27年度は「ほたて」の加工品の開発を行った。

令和4年度は、「ほうれん草」等の加工数量の増加を図るため、原料野菜の作付地域を広げ安定供給に努めるとともに、地場産物加工品を製造できる県内工場の開拓とあおり型給食の趣旨を踏まえた商品開発を行い、県産食材利用率向上のための取り組みを進める。また、青森県産食材を使用した学校給食向け「だし商品」の取扱いの充実を図り、「だし」を活かした減塩の推進、「だし商品」の普及啓発に努める。

なお、当給食会では、平成25年度より地場産物活用推進検討委員会を設け、物資委員会で選定された素材商品について、献立レシピを作成して頂き、学校給食に活用できるよう積極的に取り組みを進めているほか、地場産物加工品の商品開発を進めている。

## ウ 一般物資仕入計画

学校等の学校給食の献立に応じた学校給食用物資について、安定供給に努め、次のとおり一般物資の仕入を計画するものである。

一般物資仕入計画

分類別	商品名	令和4年度 (仕入計画)	令和3年度 (仕入実績見込)
穀類	長いも入りひつつみ 外	千円 8,476	千円 8,824
いも及びでんぷん類	味付とろろ 外	11,408	11,876
砂糖類	精製上白糖 外	319	332
豆類	県産冷凍豆腐 外	27,914	29,060
種実類	アーモンド 外	1,402	1,460
野菜類	県産冷凍小松菜 外	97,891	101,910
果実類	カットりんご 外	28,488	29,657
きのこ類	新郷村産乾しいたけ 外	14,276	14,862
藻類	階上町産ふのり 外	12,109	12,606
魚介類	さば黒酢あんかけ 外	113,313	117,967

肉 類	県産牛肉 外	89,861	93,551
卵 類	ほたて入り厚焼玉子 外	30,081	31,316
乳 類	ヨーグルト 外	5,736	5,971
油脂類	サラダ油 外	3,186	3,317
菓子類	あおもりぷりん 外	42,253	43,989
嗜好飲料類	天然麦茶 外	446	464
調味料及び香辛料類	カルシウム強化味噌 外	26,831	27,933
調理加工食品類	アピオス&牛肉コロッケ 外	113,377	118,033
パン添加物類	ゼネラルレクラークジャム 外	2,167	2,256
ふりかけ類	はいがふりかけ 外	510	531
ごはんの素類	帆立御飯の素 外	1,466	1,526
その他（添加物類）	アーモンドカル 外	2,103	2,190
洗剤・その他	除菌マイクレール 外	2,804	2,919
パン包装資材	フィルム	892	929
合 計		637,309	663,479

## 2 学校給食の安全確保のための事業

予算 1,262 千円

学校給食用物資の安全を確保するため品質検査・学校給食委託加工工場への立入検査を行い、また、県・市町村教育委員会との連携を図り、食中毒の回避や関係者の意識・知識の向上を図るための講習会を開催する等、学校給食の安全確保に努める。

### (1) 学校給食用物資の安全性を確保するための食品検査等の実施

予算 414 千円

#### ① 当給食会取扱物資の食品検査の実施

当給食会の食品検査室で定期的に食品検査（一般生菌、大腸菌群及び大腸菌、黄色ブドウ球菌）を実施し、取扱物資の安全性・品質等について確認し、その結果を広報「A S L ニュース」に記載する。

また、給食センター等から依頼のあった学校給食用物資についても検査確認を行うこととする。

#### ② 残留農薬等の検査委託の実施

当給食会が取扱う地場産品（米・野菜等）について、計画的に外部機関へ理化学検査（残留農薬及び有機リン系）を委託し、安全性・品質等について確認する。

③ 取引業者からの検査証等の提出

当給食会取扱物資について、取引業者から全ての取扱物資に関する原材料の原産地、アレルギー物質、遺伝子組換え、食品添加物等を明記した規格書を提出させるとともに、細菌検査表等の検査証を提出させ、安全性・品質等について確認する。

④ 学校給食委託加工工場への衛生管理の指導、支援

学校給食用パン・米飯委託加工工場に示している「衛生管理マニュアル」をもとに、衛生管理の指導を行うほか、定期的に拭取り調査等の立入検査を行い衛生管理の徹底を図る。

(2) 学校給食施設の衛生管理の支援

予算 848 千円

① 学校給食施設の拭取り検査の実施

学校給食施設における衛生状態を客観的に確認、判断することを目的として、学校給食施設の細菌検査・ATP（汚れの度合い）検査を年間30カ所程度実施し、その結果を報告するとともに、検査実施報告会を開催し、学校給食関係者の衛生管理に対する意識の向上を図る。

② 学校給食用検査器材の貸出

学校給食施設における、食品検査や衛生検査を実施するため、検査器材の貸出を行う。

II 学校給食の普及充実及び食育の支援に関する事業

1 学校給食の普及充実のための事業

予算 4,888 千円

学校給食法の趣旨に沿って学校給食が果たすべき目標を達成できるよう、学校給食実施主体者である県・市町村教育委員会との連携を図り、学校給食関係者の意識向上や専門性を高めるための研修会等の開催や学校給食に関する器材等の貸与を行う。

(1) 研修会及び調理講習会の開催

予算 715 千円

事業名	期日	開催地	摘要
学校給食調理講習会	7月27日(水)	青森市 (県学給)	東郡地区連絡協議会主催
学校給食センター所長研修会 栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会	7月29日(金)	青森市 (県社教センター)	給食会主催 県教委・センター連協・学校 栄養士協共催
学校給食関係者夏季研修会	7月	むつ市	下北地区連絡協議会主催
調理従事員衛生管理講習会	8月2日(火)	青森市 (県社教センター)	県教委主催 センター連協・給食会共催
学校給食レシピコンテスト	11月	青森市 (県学給)	県教委・給食会主催 センター連協・学校栄養士協 共催

栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会	1 月	青森市	県学校栄養士協議会主催 給食会共催
学校栄養士協議会調理講習会	2 月	青森市 (県学給)	県学校栄養士協議会主催 給食会共催

(2) 学校給食関係団体等の行う研修事業への助成

予算 1,521 千円

① 研究大会に対する負担金

- ・ 青森県学校保健・安全・給食研究大会【開催地：八戸市（10月31日（月））】

② 学校給食関係団体等の行う研修事業への助成

- ・ 青森県学校給食センター連絡協議会
- ・ 青森県学校栄養士協議会
- ・ 地区学校給食連絡協議会（9地区）

(3) 各種大会等出席者への助成

予算 430 千円

事業名	期 日	開催地	摘 要
第63回全国栄養教諭 ・学校栄養職員研究大会	8月 4日（木） ～ 5日（金）	大分県大分市	助成対象者 栄養教諭・学校栄養職員 3名
第73回 全国学校給食研究協議大会	10月20日（木） ～21日（金）	東京都 (オンライン開催)	助成対象者 学校給食関係者 10名

(4) 学校給食に関する器材等の貸出

予算 2,068 千円

① 学校給食業務支援コンピュータソフトの貸与

栄養価計算や食のバランスなど児童生徒の栄養所要量の基準を管理するため、県内全ての栄養教諭等に「学校給食管理システム」を無償貸与し、重要な職務を支援するとともに、事務量の大幅な軽減に寄与する。（延べ62施設）

② 冷凍庫の貸与

学校給食用物資の衛生管理に資するため、冷凍庫（600ℓ 又は 1,300ℓ（5ヶ所対象））を無償で貸与し、児童生徒に安全な学校給食を提供できるように支援する。

③ バイキング給食用食器の貸出

子どもたちに正しい食習慣を身に付けさせ、豊かで潤いのある食環境づくりを醸成し、学校給食の充実に寄与することを目的に、盛り付け用食器（大皿等）の貸出しを行う。

(5) 学校給食に関する情報提供

予算 154 千円

① ホームページ (<http://www.aogk.or.jp>) の充実

- ・ 学校給食会の概要、財務内容等の公告及び公開
- ・ 学校給食用物資の安定供給、学校給食の安全確保、食育の支援等の事業内容
- ・ センター連絡協議会、学校栄養士協議会、地区連絡協議会の事業内容等
- ・ 取扱物資の物資内訳書〈規格書〉の掲載

② 学校給食情報の提供

- ・ 広報「ASLニュース」、商品案内等（毎月発行）の充実

2 食育の支援に関する事業

予算 2,056 千円

(1) 食に関する指導教材の貸出

予算 403 千円

学校給食に関する食育活動の一環として、授業への参画や個別指導、家庭・地域との連携事業等を行うための参考資料として、学校・食育関係団体等に貸出を行う。

- ・ 県産品フードモデル（農水産物36種類）の貸出
- ・ フードモデル（教材セット）の貸出
- ・ DVD、ビデオテープ、紙芝居、図書等の貸出

(2) 食育活動に対する助成事業

予算 1,516 千円

① 学校給食関係団体を実施する食育活動に対する助成事業

学校給食関係団体が、食育活動を通して児童生徒の正しい食習慣と健全な発達を図るための事業に対し、経費の一部を助成し食育推進の支援を行う。（5団体対象）

② P T A が実施する食育活動に対する助成事業

食育推進事業の一環として、「地産地消」、「減塩」、「野菜摂取」をテーマとした食育活動に対し支援を行うこととし、P T A が食育活動を実践するための事業に対して経費の一部を助成し家庭の食生活の質的向上を図る。（50団体対象）

(3) 学校給食レシピコンテストの開催

予算 137 千円

地場産物を活用した食育推進及び学校給食に対する児童生徒の関心を高めるため、青森県産の食材を使った、家庭でも簡単に調理でき、学校給食でも提供できる児童生徒のアイデアを活かした料理のレシピコンテストを開催し、食育推進の支援を行う。

## ◇ 管 理 業 務

### 1 業務運営費の抑制

コンピュータによる物資販売管理システムと財務管理システムを構築し、内部事務の合理化を図っている。また、業務運営費の節減に努め、収益率の向上を図ることとしている。

### 2 施設・設備の保守について

予算 1,600 千円

当給食会の施設設備は、設置40年が経過しているため、保守点検に努め、早期の修繕を行い、将来的に施設設備を有効に活用することとしている。

令和4年度は、倉庫棟屋根改修工事を行うこととしている。

## ◇ 令和4年度における学校給食会主催事業等

### 1 学校給食会主催事業

No.	事業名	期 日	開催地
1	監査会	5 月	青森市（県学給）
2	理事会	6 月 10 月 3 月	青森市（県学給）
3	評議員会	6 月 3 月	青森市（県学給）
4	地場産物活用推進検討委員会	6 月 9 月 2 月	青森市（県学給）
5	物資委員会	7 月 12 月 2 月	青森市（県学給）
6	学校給食用パン製造技術講習会及び衛生管理講習会	7 月	青森市（赤田パン）
7	学校給食センター所長研修会並びに栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会及び物資総合展示会	7月29日（金）	青森市（県社教センター）
8	物資委員会工場視察	10 月	愛知県
9	学校給食用パン品質調査会	10 月	青森市（県学給）
10	学校給食献立レシピコンテスト	11 月	青森市（県学給）
11	北海道・東北ブロック物資共同購入委員会	1 月	青森市
12	地区連絡協議会代表者会議	2 月	青森市（県学給）
13	とう精工場長会議	3 月	青森市（県学給）

## 2 全国学校給食会連合会、北海道・東北ブロック学校給食会主催事業

No.	事業名	期日	開催地
1	北海道・東北ブロック常勤役員会議	5月19日(木) 10月	新潟県 北海道
2	北海道・東北ブロック学校給食研究協議会	5月20日(金)	新潟県
3	全給連定例総会	6月 2月	東京都
4	北海道・東北ブロック合同職員研修会	7月	岩手県
5	第63回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	8月4日(木) ～5日(金)	大分県
6	北海道・東北ブロック物資共同購入委員会	10月	福島県
7	第73回全国学校給食研究協議大会	10月20日(木) ～21日(金)	東京都 (オンライン開催)
8	全給連管理職研修会	未定	東京都
9	全給連実務(衛生管理)担当者研修会	未定	東京都
10	全給連初任者研修会	未定	東京都

## 3 青森県学校給食センター連絡協議会主催事業(事務局:給食会)

No.	事業名	期日	開催地
1	定例総会及び研究協議会	5月	青森市
2	学校給食センター所長研修会	7月29日(金)	青森市 (県社教センター)
3	学校給食センター所長会議	1月	青森市

【別表】

小・中学校 児童・生徒の推移

(単位：人)

年 度	S60	H 元	H5	H10	H15	H20
小 学 校	142,919	126,502	114,467	96,646	88,111	78,983
中 学 校	76,793	71,011	63,808	57,297	46,471	43,348
合 計	219,712	197,513	178,275	153,943	134,582	122,331
増 減	0	-22,199	-19,238	-24,332	-19,361	-12,251
増 減 率	0	-10.10%	-9.74%	-13.65%	-12.58%	-9.10%

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
小 学 校	54,667	53,861	52,976	52,198	51,382	50,197
中 学 校	29,245	28,362	28,312	28,066	27,622	26,966
合 計	83,912	82,223	81,288	80,264	79,004	77,163
増 減	-38,419	-1,689	-935	-1,024	-1,260	-1,841
増 減 率	-31.40%	-2.00%	-1.13%	-1.25%	-1.56%	-2.33%

